

2017年3月期 第1四半期 決算実績 概況資料

2016年8月4日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2017年3月期第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P20

V. 2017年3月期 業績予想 P24

2017年3月期第1四半期 決算実績

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)	
営業収益	1,190	1,210	+19	+1.7%
営業利益	162	115	△46	△28.9%
償却前営業利益	260	220	△39	△15.3%
経常利益	143	134	△9	△6.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	99	125	+26	+26.8%

(金額単位：億円)

決算実績ポイント

■ 営業収益

・ホテル・レジャー事業において、耐震補強工事ともなうホテルの営業休止の影響(△29億円)があったものの、高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことでRevPAR*が上昇したことなどにより増収(前年同期比+4億円)。また、建設事業において、繰越工事やリノベーション工事が増加し増収(同+38億円)。

▶ [3ページ](#)

■ 営業利益

・東京ガーデンテラス紀尾井町開業にかかる一過性費用の計上などにより減益。

▶ [4ページ](#)

＜西武鉄道・鉄道業＞

運輸収入 前年同期比+0.7% (定期+1.0%、定期外+0.5%)

▶ [9ページ](#)

＜ホテル業＞

RevPAR 10,029円 (前年同期比+4.5%)
シティ11,987円 (同+6.7%)、リゾート6,463円 (同+3.3%)

▶ [11ページ](#)

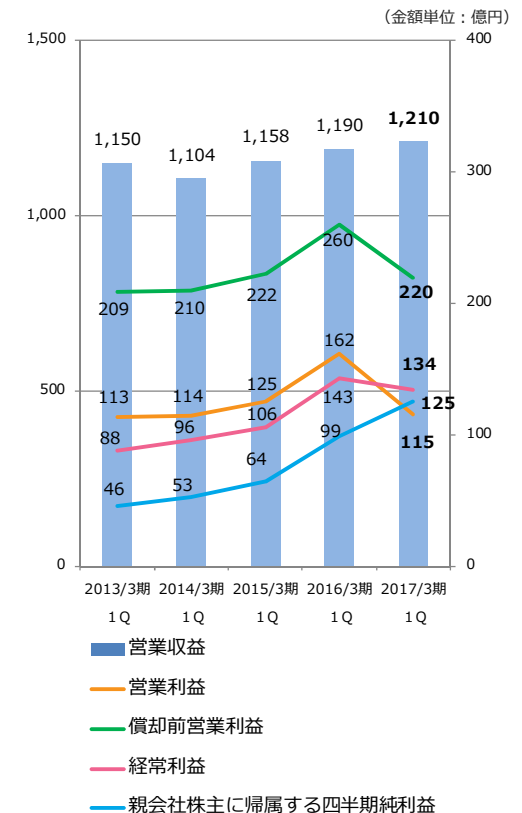
■ 経常利益

・NWコーポレーション(当期より持分法を適用)にかかる持分法による投資利益の計上(一過性の要因)などにより、営業利益と比較して減益額は縮小。

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

・上記要因に加え、プリンスホテルにおいて繰延税金資産を計上したことで法人税等調整額が減少したことなどにより、前年同期比+26億円。

業績の推移



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	387	386	△ 1	△ 0.3%	鉄道業において、雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより定期旅客・定期外旅客ともに好調に推移したものの、沿線レジャー業において西武秩父仲見世通りの複合型温泉計画リニューアル工事にともなう休業の影響などがあり減収。
ホテル・レジャー事業	426	431	+ 4	+ 1.2%	ホテル業（シティ）において、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪での耐震補強工事にともなう営業休止の影響（△29億円）があったものの、高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことでRevPARが上昇したことなどのほか、前年7月に仙台うみの杜水族館が開業したことなどにより増収。
不動産事業	124	126	+ 2	+ 1.7%	東京ガーデンテラス紀尾井町の一部開業効果などにより増収。
建設事業	191	229	+ 38	+ 20.0%	繰越工事やリノベーション工事の増加などにより増収。
ハワイ事業	46	42	△ 4	△ 9.2%	為替レートの変動のほか、前期は大型の団体利用があったことなどにより減収。
その他	109	109	+ 0	+ 0.0%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収。
調整額	△ 95	△ 115	△ 19	—	グループ内工事の増加。
連結数値	1,190	1,210	+ 19	+ 1.7%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益



■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	80	79	△ 0	△ 0.6%	増収による増益があったほか、鉄道業において、電気動力費が減少したものの、退職給付費用や修繕費など一部費用が増加し、前年同期並み。
ホテル・レジャー事業	24	24	△ 0	△ 1.7%	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町開業にかかる一時的な費用の計上や退職給付費用が増加したものの、RevPARが着実に成長したことなどにより前年同期並み。
不動産事業	43	△ 3	△ 46	—	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町開業にかかる一時的な費用の計上により減益。
建設事業	2	7	+5	+184.1%	増収による増益に加え、工事利益率の改善などにより増益。
ハワイ事業	0	△ 1	△ 1	—	減収による減益。
その他	9	8	△ 0	△ 7.4%	西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費などが増加したことにより減益。
調整額	1	△ 0	△ 1	—	
連結数値	162	115	△ 46	△ 28.9%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	129	129	△ 0	△ 0.4%	
ホテル・レジャー事業	52	53	+0	+1.6%	
不動産事業	53	13	△ 39	△ 74.7%	
建設事業	3	8	+5	+149.5%	
ハワイ事業	5	2	△ 2	△ 45.7%	
その他	15	14	△ 0	△ 3.0%	
調整額	0	△ 2	△ 2	—	
連結数値	260	220	△ 39	△ 15.3%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2017年3月期第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P20

V. 2017年3月期 業績予想 P24

2017年3月期第1四半期の主な取り組み

全体

- ・「東京ガーデンテラス紀尾井町（グランドプリンスホテル赤坂跡地開発計画）」
2016年7月27日にグランドオープン
- ・「SEIBU PRINCE CLUB emi」のサービス開始（2016年7月13日開始）
- ・西武グループ内「再就職支援ネットワーク」の構築により、ダイバーシティを推進

都市交通・沿線事業

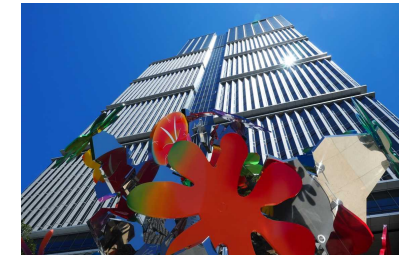
- ・観光電車【西武 旅するレストラン「52席の至福」】の運行開始
- ・西武鉄道の全駅にてお客さまへのご案内強化のためタブレット端末を導入
- ・きゃりーぱみゅぱみゅさんとのコラボレーション電車「SEIBU KPP TRAIN」を運行開始
- ・「新型通勤車両40000系」で座席指定制直通列車の導入決定（2017年春導入予定）
- ・西武バス「学トク定期券」のIC化

ホテル・レジャー事業

- ・「ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町」2016年7月27日にオープン
- ・「東京プリンスホテル」「グランドプリンスホテル高輪」で耐震・リニューアル工事を推進
- ・高輪・品川エリアの各ホテルのバリューアップ投資を推進
- ・「軽井沢浅間プリンスホテル」の客室リニューアルを実施
- ・品川・大泉学園で東映グループ（株）ティ・ジョイ とシネコン事業提携開始

不動産事業

- ・オフィス、商業施設「紀尾井テラス」、住宅棟「紀尾井レジデンス」
2016年7月27日にグランドオープン（2016年5月より一部施設が先行オープン）
- ・「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」で店舗独立型免税手続きサービスを開始
- ・「アメリカン・ブルバード」が「Brick.St」としてリニューアルオープン
- ・「西武本川越ペペ」がリニューアルオープン



東京ガーデンテラス紀尾井町



西武 旅するレストラン「52席の至福」



ザ・プリンスギャラリー
東京紀尾井町



紀尾井テラス

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2017年3月期第1四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P20

V. 2017年3月期 業績予想 P24

都市交通・沿線事業 概況

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

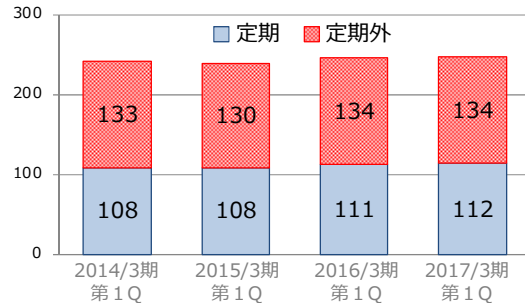
	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	38,745	38,624	△ 121	△ 0.3%	
鉄道業	25,880	26,014	+133	+0.5%	雇用情勢の堅調な推移や沿線での積極的なイベント活動などにより増収。
バス業	6,328	6,390	+62	+1.0%	路線バスが好調に推移し、増収。
沿線レジャー業	5,289	4,973	△ 316	△ 6.0%	西武秩父仲見世通りの複合型温泉計画リニューアル工事にともなう休業の影響などがあり減収。
その他	1,247	1,245	△ 1	△ 0.1%	
営業利益	8,008	7,963	△ 44	△ 0.6%	増収による増益があったほか、鉄道業において、電気動力費が減少したものの、退職給付費用や修繕費など一部費用が増加し、前年同期並み。
償却前営業利益	12,988	12,932	△ 56	△ 0.4%	

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2014/3期 第1Q	2015/3期 第1Q	対前年同期 増減率	2016/3期 第1Q	対前年同期 増減率	2017/3期 第1Q	対前年同期 増減率
輸送人員							
定期	100,400	100,922	+0.5%	103,822	+2.9%	104,848	+1.0%
定期外	60,547	59,014	△ 2.5%	60,864	+3.1%	61,249	+0.6%
計	160,948	159,936	△ 0.6%	164,686	+3.0%	166,097	+0.9%
旅客運輸 収入							
定期	10,849	10,844	△ 0.0%	11,180	+3.1%	11,288	+1.0%
定期外	13,307	13,018	△ 2.2%	13,415	+3.1%	13,476	+0.5%
計	24,156	23,862	△ 1.2%	24,595	+3.1%	24,765	+0.7%
運輸雑収	1,088	1,007	△ 7.4%	1,018	+1.1%	996	△ 2.1%
収入合計	25,245	24,869	△ 1.5%	25,614	+3.0%	25,761	+0.6%

（単位：億円） 旅客運輸収入の推移



- 定期
雇用情勢の堅調な推移により増加。
- 定期外
沿線での積極的なイベント活動などで増加。

ホテル・レジャー事業 概況



(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	42,643	43,137	+494	+1.2%	
ホテル業（シティ）	26,256	25,371	△ 884	△ 3.4%	高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことでRevPARが上昇。しかしながら、東京プリンスホテル・グランドプリンスホテル高輪での耐震補強工事にともなう営業休止の影響（△29億円）などにより減収。
ホテル業（リゾート）	7,500	7,535	+35	+0.5%	北海道エリア・箱根エリアにおいて、昨年度バリューアップ投資を実施したホテルを中心に平均販売室料・RevPARが大きく上昇し増収。
ゴルフ場業	3,340	3,435	+94	+2.8%	
その他	5,545	6,795	+1,249	+22.5%	前年7月の仙台うみの杜水族館の開業、アクアパーク品川のリニューアルなどにより増収。
営業利益	2,479	2,436	△ 43	△ 1.7%	ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町開業にかかる一時的な費用の計上や退職給付費用が増加したものの、RevPARが着実に成長したことなどにより前年同期並み。
償却前営業利益	5,252	5,335	+82	+1.6%	

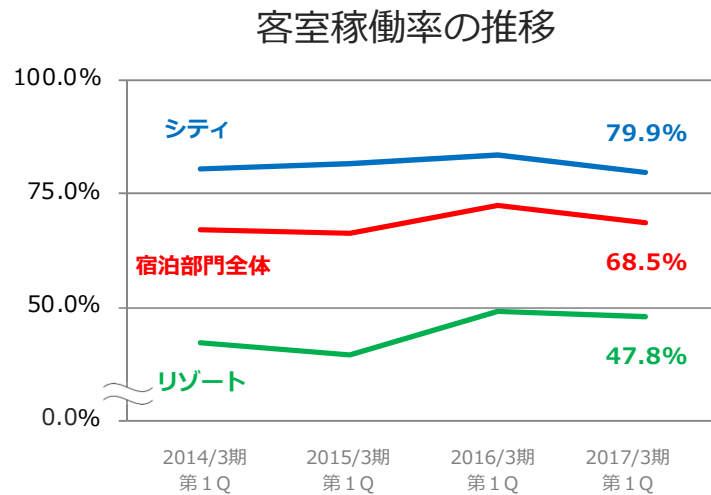
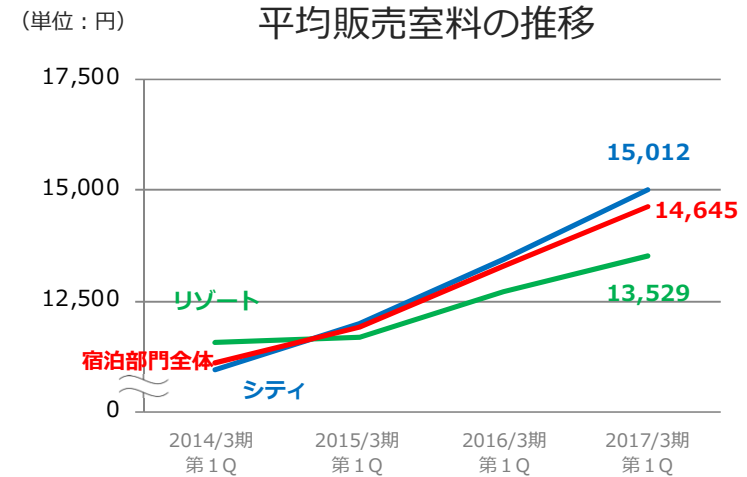
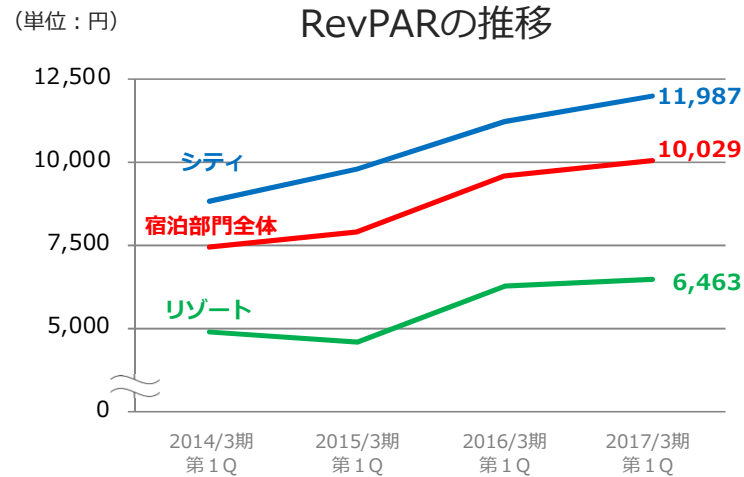
ホテル・レジャー事業 営業指標の推移



ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

（室料：円）

		2014/3期 第1Q	2015/3期 第1Q	対前年同期	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期
RevPAR	シティ	8,816	9,781	+965	11,238	+1,457	11,987	+749
	高輪・品川エリア	9,220	10,279	+1,059	11,928	+1,649	13,112	+1,184
	リゾート	4,884	4,611	△ 273	6,259	+1,648	6,463	+204
	軽井沢エリア	8,172	9,158	+986	12,511	+3,353	12,708	+197
	宿泊部門全体	7,463	7,903	+440	9,594	+1,691	10,029	+435
平均販売室料	シティ	10,965	11,977	+1,013	13,435	+1,457	15,012	+1,577
	高輪・品川エリア	10,729	11,966	+1,236	13,668	+1,702	15,375	+1,707
	リゾート	11,587	11,701	+114	12,730	+1,028	13,529	+800
	軽井沢エリア	20,691	20,608	△ 83	22,128	+1,520	23,565	+1,437
	宿泊部門全体	11,099	11,918	+819	13,276	+1,359	14,645	+1,369
客室稼働率	シティ	80.4%	81.7%	+1.3pt	83.6%	+2.0pt	79.9%	△ 3.8pt
	高輪・品川エリア	85.9%	85.9%	△ 0.0pt	87.3%	+1.4pt	85.3%	△ 2.0pt
	リゾート	42.2%	39.4%	△ 2.7pt	49.2%	+9.8pt	47.8%	△ 1.4pt
	軽井沢エリア	39.5%	44.4%	+4.9pt	56.5%	+12.1pt	53.9%	△ 2.6pt
	宿泊部門全体	67.2%	66.3%	△ 0.9pt	72.3%	+6.0pt	68.5%	△ 3.8pt



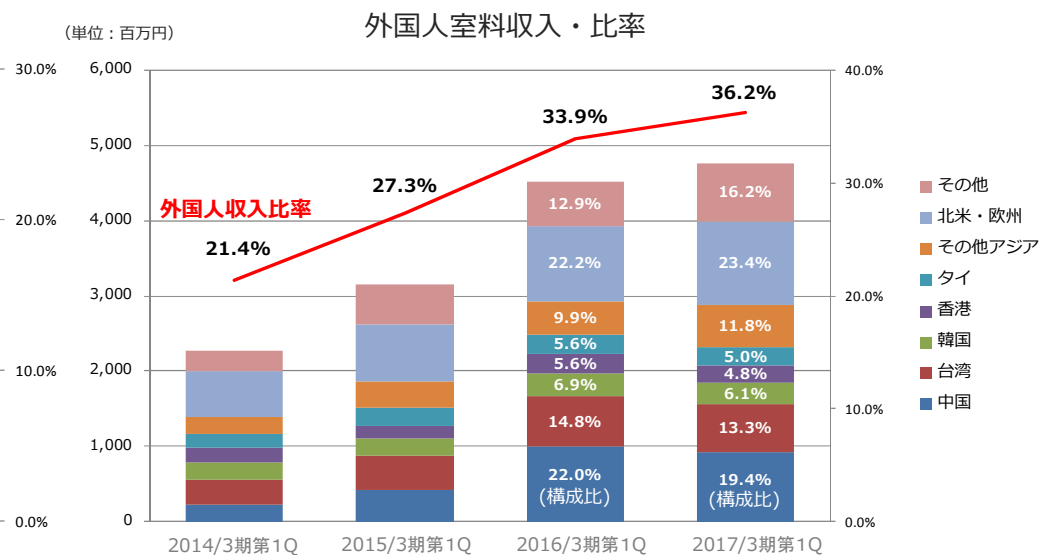
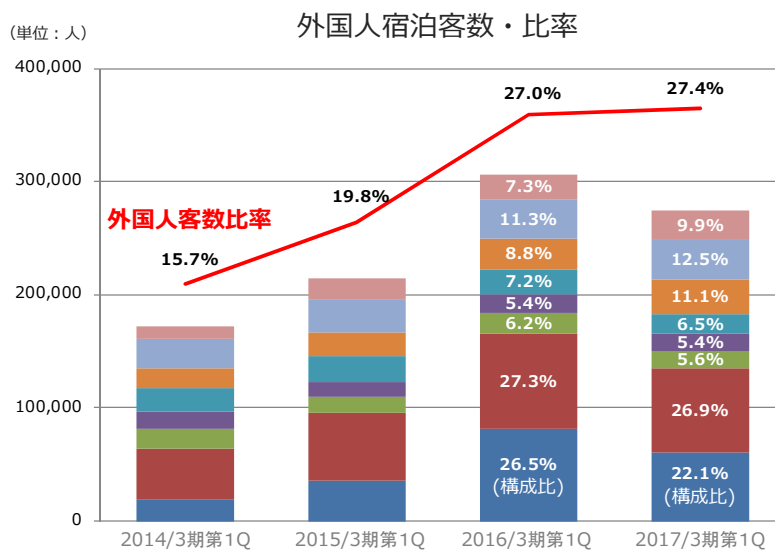
高単価な客層へのマーケットチェンジをはかったことにより平均販売室料が上昇し、RevPARが上昇。

ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向① (宿泊客数・室料収入)



(人員単位：人、金額単位：百万円)

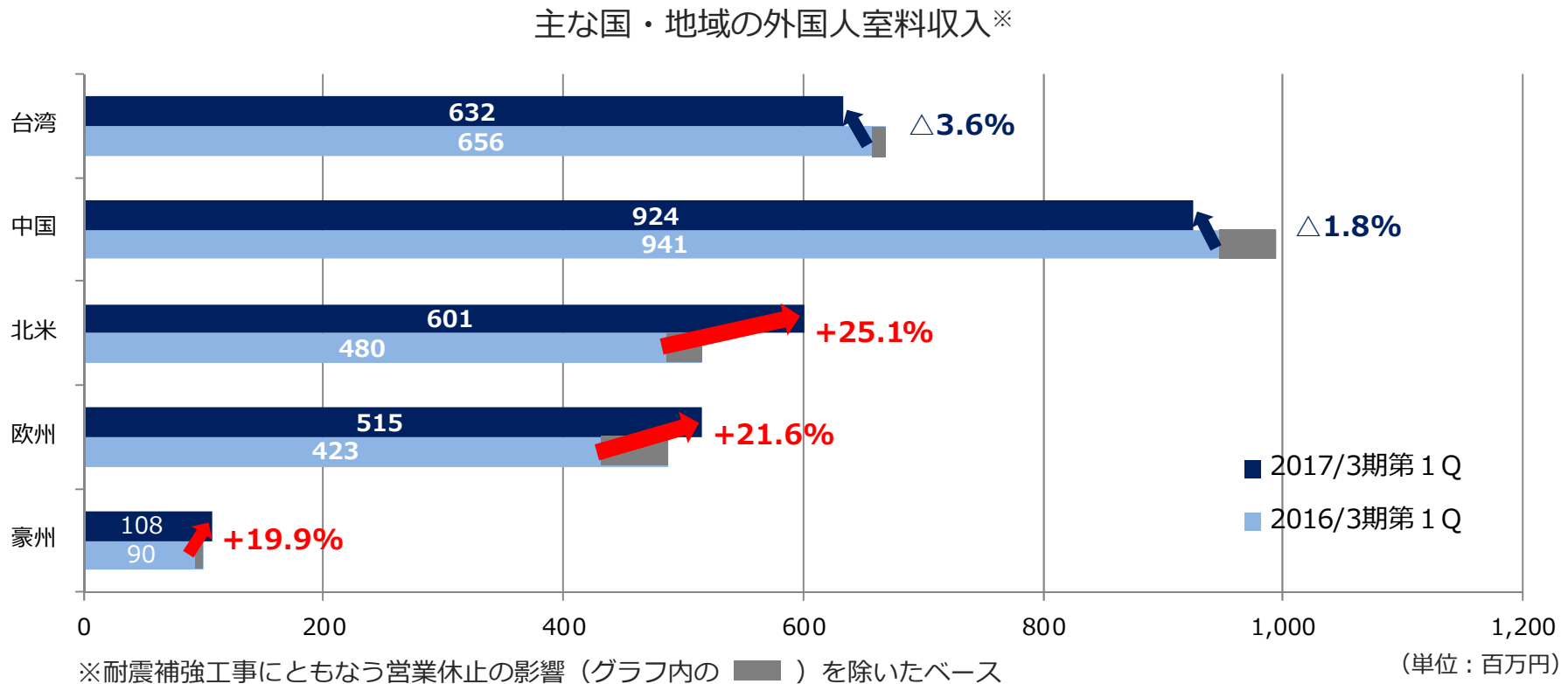
		2014/3期 第1Q	2015/3期 第1Q	対前年同期	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	923,717	869,495	△ 54,222	830,438	△ 39,057	730,517	△ 99,921
	外国人客	172,289	214,426	+42,137	306,599	+92,173	275,152	△ 31,447
	計	1,096,006	1,083,921	△ 12,085	1,137,037	+53,116	1,005,669	△ 131,368
室料収入	外国人客	2,279	3,148	+869	4,515	+1,366	4,767	+251



2017/3期第1Qの外国人宿泊客は、人数ベースでは対前年同期で減少したものの、平均販売室料の上昇により、**収入ベースでは増加トレンドが継続**

ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向② (主な国・地域の外国人室料収入)

マーケットチェンジの一例として、室料収入ベース※で台湾(△3.6%)、中国(△1.8%)などアジアは減少する一方、**北米(+25.1%)、欧州(+21.6%)、豪州(+19.9%)**など、**より単価の高い地域が着実に増加**



不動産事業 概況



(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	12,445	12,656	+210	+1.7%	
不動産賃貸業	7,844	8,071	+226	+2.9%	東京ガーデンテラス紀尾井町の一部開業効果などにより増収。
その他	4,600	4,585	△15	△0.3%	
営業利益	4,300	△362	△4,663	—	増収による増益があったものの、東京ガーデンテラス紀尾井町開業にかかる一時的な費用の計上により減益。
償却前営業利益	5,351	1,355	△3,995	△74.7%	

(面積：千㎡)

		2014/3期 第1Q	2015/3期 第1Q	対前年同期	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期
建物賃貸物件 の期末貸付面積	商業施設	208	224	+15	233	+8	236	+3
	オフィス・住宅	57	56	△1	62	+6	83	+20
建物賃貸物件 の期末空室率	商業施設	0.9%	1.7%	+0.8pt	1.6%	△0.1pt	2.0%	+0.4pt
	オフィス・住宅	10.6%	7.1%	△3.5pt	7.1%	△0.0pt	49.4%*	+42.3pt

※2017/3期のオフィス・住宅 期末空室率の大幅な上昇は、東京ガーデンテラス紀尾井町竣工による一時的なもの。



建設事業 概況

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	19,137	22,958	+3,820	+20.0%	
建設業	13,500	16,798	+3,297	+24.4%	繰越工事やリノベーション工事の増加などにより増収。
その他	5,636	6,159	+522	+9.3%	造園請負工事の進捗増加などにより増収。
営業利益	279	795	+515	+184.1%	増収による増益に加え、工事利益率の改善などにより増益。
償却前営業利益	352	880	+527	+149.5%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2014/3期 第1Q	2015/3期 第1Q	対前年同期	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期
期首繰越高	58,012	62,321	+4,309	84,335	+22,014	99,069	+14,733
期中受注高	19,508	32,741	+13,233	13,339	△19,402	20,264	+6,925
期末繰越高	67,875	77,380	+9,506	84,215	+6,834	102,574	+18,359

ハワイ事業 概況



(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	4,660	4,229	△ 431	△ 9.2%	為替レートの変動のほか、前期は大型の団体利用があったことなどにより減収。
営業利益	25	△ 156	△ 181	—	減収による減益。
償却前営業利益	538	292	△ 246	△ 45.7%	

ホテルの客室稼働率、平均販売室料

	2014/3期 第1Q	2015/3期 第1Q	対前年同期	2016/3期 第1Q	対前年同期	2017/3期 第1Q	対前年同期
客室稼働率	79.2%	76.9%	△ 2.3pt	75.9%	△ 1.0pt	71.0%	△ 4.9pt
平均販売室料 (円)	20,120	24,815	+4,695	30,905	+6,090	29,167	△ 1,738
平均販売室料 (米ドル)	231.27	243.28	+12.01	257.97	+14.69	265.15	+7.18

その他 概況

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	10,947	10,949	+2	+0.0%	西武ライオンズの観客動員数が増加したことなどにより増収。
営業利益	948	878	△ 70	△ 7.4%	西武ライオンズにおいてファン層の拡大にかかる経費などが増加したことにより減益。
償却前営業利益	1,546	1,499	△ 47	△ 3.0%	

- I. エグゼクティブ・サマリー P2
- II. 2017年3月期第1四半期の主な取り組み P6
- III. セグメント情報及び営業指標 P8
- IV. 決算実績詳細 P20**
- V. 2017年3月期 業績予想 P24

連結損益計算書サマリー

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業収益	119,062	121,053	+1,990	都市交通・沿線：△1億円、ホテル・レジャー：+4億円、 不動産：+2億円、建設：+38億円、ハワイ：△4億円、 その他：+0億円
営業利益	16,232	11,549	△4,683	都市交通・沿線：△0億円、ホテル・レジャー：△0億円、 不動産：△46億円、建設：+5億円、ハワイ：△1億円、 その他：△0億円
営業外収益	638	4,611	+3,973	持分法による投資利益+37億円（21ページを参照）
営業外費用	2,492	2,757	+265	支払利息+1.9億円
経常利益	14,378	13,403	△974	
特別利益	325	905	+579	受取保険金+4億円
特別損失	422	1,130	+707	固定資産除却損+3億円
税金等調整前四半期純利益	14,281	13,178	△1,103	
法人税等	4,347	555	△3,792	法人税、住民税及び事業税△2億円 法人税等調整額△34億円（プリンスホテルにおける繰延税金資産の計上 △35億円）
四半期純利益	9,933	12,623	+2,689	
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	26	+24	
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,931	12,596	+2,665	

営業外・特別損益

Seibu Holdings

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第1Q	2017/3期 第1Q	対前年同期	摘要
営業利益	16,232	11,549	△ 4,683	
営業外収益	638	4,611	+ 3,973	
受取利息・配当金	332	367	+ 35	
バス路線運行維持費補助金	111	109	△ 1	
持分法による投資利益	19	3,740	+ 3,720	当期よりNWコーポレーションが持分法適用関連会社となったことによる計上（一過性の要因）
その他営業外収益	174	394	+ 219	
営業外費用	2,492	2,757	+ 265	
支払利息	2,397	2,588	+ 190	
その他営業外費用	94	169	+ 74	
経常利益	14,378	13,403	△ 974	
特別利益	325	905	+ 579	
固定資産売却益	203	35	△ 167	
工事負担金等受入額	25	18	△ 6	
補助金収入	97	316	+ 219	
受取保険金	—	429	+ 429	
その他特別利益	—	105	+ 105	
特別損失	422	1,130	+ 707	
減損損失	41	—	△ 41	
固定資産売却損	4	8	+ 4	
固定資産除却損	135	528	+ 392	
工事負担金等圧縮額	25	18	△ 6	
固定資産圧縮損	80	296	+ 215	
投資有価証券評価損	0	0	+ 0	
固定資産撤去損失引当金繰入額	74	264	+ 190	
その他特別損失	61	14	△ 46	
税金等調整前四半期純利益	14,281	13,178	△ 1,103	

連結貸借対照表サマリー



(金額単位：百万円)

	2016/3期 期末	2017/3期 第1Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,553,092	1,555,953	+2,861	
流動資産	136,813	100,110	△ 36,703	受取手形及び売掛金△13,710 その他△23,387 (求償債権回収など)
固定資産	1,416,278	1,455,843	+39,564	有形・無形固定資産+44,367 投資有価証券△5,387
負債 合計	1,160,443	1,218,406	+57,963	
流動負債	317,855	340,722	+22,867	前受金+6,903 賞与引当金+5,315 その他+30,027 (東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代など) 支払手形及び買掛金△10,488 短期借入金の減少△6,443
固定負債	842,587	877,683	+35,096	持分法適用に伴う負債+17,393 (NWコーポレーション持分法適用) 長期借入金の増加+15,374
純資産 合計	392,649	337,546	△ 55,102	自己株式△52,884 (NWコーポレーションが保有する当社株式の当社グループ持分相当分を自己株式に計上) 利益剰余金+8,599
有利子負債 期末残高	843,745	852,607	+8,862	
ネット有利子負債	821,328	832,638	+11,310	東京ガーデンテラス紀尾井町新築工事代の支払の増加など

- I. エグゼクティブ・サマリー P2
- II. 2017年3月期第1四半期の主な取り組み P6
- III. セグメント情報及び営業指標 P8
- IV. 決算実績詳細 P20
- V. 2017年3月期 業績予想 P24**

2017年3月期連結業績予想 (期初予想と変更はございません)



2017年3月期 第2Q予想

(金額単位：億円)

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	連結消去等
	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期	対前年同期
営業収益	2,540 + 1.3%	798 + 0.9%	957 + 2.2%	257 + 2.2%	434 + 1.4%	101 + 16.9%	230 + 1.6%	△ 237 -
営業利益	281 △ 26.3%	155 △ 3.9%	68 △ 36.0%	16 △ 80.5%	6 △ 41.2%	7 -	19 △ 20.1%	10 + 262.3%
償却前営業利益	503 △ 13.2%	256 △ 2.3%	129 △ 20.5%	56 △ 45.7%	8 △ 32.0%	17 + 211.4%	32 △ 10.9%	5 -
経常利益	251 △ 26.8%							
親会社株主に帰属する 四半期純利益	209 △ 13.7%							

2017年3月期 通期予想

(金額単位：億円)

	連結	都市交通・沿線事業	ホテル・レジャー事業	不動産事業	建設事業	ハワイ事業	その他	連結消去等
	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期	対前期
営業収益	5,142 + 1.2%	1,583 + 0.6%	1,923 + 2.3%	543 + 9.3%	1,036 △ 1.3%	209 + 8.3%	378 + 0.7%	△ 530 -
営業利益	484 △ 26.6%	252 △ 2.6%	114 △ 44.7%	55 △ 62.1%	32 △ 13.4%	11 -	5 △ 53.8%	15 + 54.3%
償却前営業利益	955 △ 10.5%	463 △ 0.9%	246 △ 23.3%	140 △ 25.4%	36 △ 11.1%	32 + 159.5%	32 △ 13.3%	6 + 277.4%
経常利益	407 △ 30.5%							
親会社株主に帰属する 当期純利益	295 △ 48.4%							

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。